

平成29年度 エコアクション21

# 環境経営レポート

**Power Science**

パワーサイエンス東海 有限会社

平成30年9月30日作成

平成31年4月17日改定

(実施期間:平成29年9月～平成30年8月)

# 目次

組織の概要 .....	4
対象範囲 .....	4
環境経営方針 .....	5
環境経営目標 .....	6
環境経営計画 .....	7
環境経営目標の実績 .....	9
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 .....	10
環境関連法規等の順守状況の確認・評価結果と違反、訴訟などの有無 .....	12
代表者による全体評価と見直しの結果 .....	13

ケースタイプDC-DCコンバーター

# PSD-50Wシリーズ

PSD シリーズは、各種車両・FA・電力関連の需要に開発された  
ケースタイプDCDCコンバーターです。

信頼の JAPAN ブランドで高品質を誇り、各種安全規格準拠設計で海外展開も。

信頼の Made In Japan

両面スルーホール基板

各種安全規格準拠

セミカスタム対応

2年保証



ユニット型DC-DCコンバーター

# SDXシリーズ

単出力50~400W

入出力にブロック端子台（ハーモニカ端子）を採用  
高い信頼性が必要とされる  
DC24V、48V、110V系入力機器組込み型の  
DC-DCコンバーター

呼称  
方法

SDX	200	24	12
シリーズ名	容量	入力電圧	出力電圧
		A:DC110V	

RoHS対応

無償保証  
期間  
5年

逆接続防止



## 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者名  
パワーサイエンス東海有限会社  
代表取締役社長 加賀谷善晴
- (2) 所在地  
愛知県名古屋市名東区藤森2丁目286番地 ステイタスビル3F
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当連絡先  
責任者 代表取締役 加賀谷 善晴 TEL:052-760-4707  
担当者 営業部 北條 将樹 TEL:052-760-4707
- (4) 事業内容  
直流・交流安定化電源及び関連機器の販売  
電子応用機器(ソフト・ハード)の販売  
他社汎用電源機器・関連機器の代理店業務
- (5) 事業の規模  
法人設立年月日:平成18年1月  
資本金:100万円  
売上高:10,000万円(平成29年度)  
従業員:3名(平成29年9月)  
延べ床面積:70㎡
- (6) 事業年度  
9月～8月

## 対象範囲

対象組織:パワーサイエンス東海有限会社

対象活動:全事業内容において

# 環境経営方針

当社は、電源機器販売及び付随の事業活動において、環境に影響する業務があることを認識し、環境経営システムの構築及び運用することにより、自主的・積極的に、環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規則や当社が約束したその他の要求事項を遵守します。
2. 次の事項について具体的は環境目標・環境活動計画を定め実施します。
  - ①省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します。
  - ②分別の徹底・リサイクルの推進につとめ廃棄物排出量を削減します。
  - ③節水につとめ水の使用量を削減します。
  - ④アイドリングストップに努め燃料削減を推進します。
  - ⑤事務用品のグリーン購入を推進します。
  - ⑥環境に配慮した電源機器製品の提供に努めます。
  - ⑦社会貢献活動を積極的に行います。
3. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日 平成27年07月27日

パワーサイエンス東海有限会社

代表取締役

加賀谷 善晴

## 環境経営目標

29 年度、30 年度、31 年度の環境経営目標は、28 年度の年間実績を基準とした。

項目	28 年度 実績	29 年度 目標	30 年度 目標	31 年度 目標
二酸化炭素排出量の削減 〈電力・ガソリン・軽油・都市ガス・ 灯油・LPG・A 重油〉(kg-CO <sub>2</sub> )	8,577	28 年度比 1%削減 8,491	28 年度比 2%削減 8,405	28 年度比 3%削減 8,320
電力量の削減 (kWh)	3,366	28 年度比 1%削減 3,332	28 年度比 2%削減 3,299	28 年度比 3%削減 3,265
ガソリン・軽油の削減 (L)	2,792	28 年度比 1%削減 2,764	28 年度比 2%削減 2,736	28 年度比 3%削減 2,708
一般廃棄物排出量の削減 (t)	0.276	28 年度比 1%削減 0.273	28 年度比 2%削減 0.27	28 年度比 3%削減 0.268
グリーン購入の促進	実施	実施	実施	実施
社会貢献〈会社周辺清掃〉(件)	1	1	1	1
RoHS 対応製品の拡販	実施	実施	実施	実施

- ① 二酸化炭素排出量は、電力・ガソリン・軽油・都市ガス・灯油・LPG・A 重油の使用量の合計とし、電力事業者の排出係数は 0.494kg-CO<sub>2</sub>/kWh とした(中部電力平成 26 年度データ)。
- ② エコマーク商品の購入品目とする。
- ③ 排水については使用量不明につき設定なし。
- ④ 化学物質については不使用につき設定なし。

# 環境経営計画

下記計画に則り、朝礼や表示にて注意喚起を行った。

	環境経営 目標項目	取組内容	担当部門 (担当者)
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	空調温度管理の適正化: 冬季20℃、夏季28℃	全部署
		空調機のフィルターを2回/年清掃する	全部署
		始業開始前、昼休み、休憩時、未使用部屋の消灯・空調停止の徹底	全部署
		OA機器適正管理: 不使用時電源オフ、節電モードの徹底	全部署
		クールビズ、ウォームビズの推進	全部署
	化石燃料使用量の削減	エコドライブの実施: 急発進・急停止・空ぶかし排除、控えめエアコン	営業部
		運行管理の徹底: 最適運行最短距離の選択	営業部
		アイドリングストップ実施	営業部
		車両管理の徹底: 車両点検、適正空気圧、エアフィルター管理	営業部
		都市ガスの管理: 湯沸節ガスの徹底、4~9月不使用の管理	全部署
排出量 廃棄物	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減: 分別の徹底、リサイクル可能品の増加	全部署
		コピー用紙のリサイクル: 緩衝材の作成	全部署
総排水量	水使用量の削減	節水啓蒙活動の実施: 節水ラベル点検、朝礼呼びかけ	全部署
		節水の実施: 手洗時・散水時節水、トイレ2度流し禁止	全部署
		水漏れ点検: 蛇口水漏れ点検	全部署
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	事務用品のグリーン品の購入	全部署
社会貢献	会社周辺の清掃	会社周辺の清掃実施 (1回/月)	全部署
RoHSの 拡販	RoHS 対応製品の拡販	客先へのRoHS対応製品使用を推奨	営業部



社用車①への注意表示



社用車②への注意表示



ガス給湯器操作盤への注意表示



室内灯スイッチへの注意表示



水道蛇口への注意表示



コピー用紙を緩衝材へ リサイクル



会社周辺の清掃

## 環境経営目標の実績

平成29年度(平成29年9月から平成30年9月)の1年間実績を、平成28基準年度と比較する。

項目	28年度 実績	29年度 目標	29年度 実績	結果(増減%) 評価
二酸化炭素排出量の削減 〈電力・ガソリン・軽油・都市ガス・ 灯油・LPG・A重油〉(kg-CO <sub>2</sub> )	8,577	28年度比 1%削減 8,491	7,622	-11% ○
電力量の削減 (kWh)	3,366	28年度比 1%削減 3,332	3,389	+1% ×
ガソリン・軽油の削減 (L)	2,792	28年度比 1%削減 2,764	2,392	-14 ○
一般廃棄物排出量の削減 (t)	0.276	28年度比 1%削減 0.273	0.255	-7% ○
グリーン購入の促進	実施	実施	実施	○
社会貢献〈会社周辺清掃〉(件)	1	1	1	○
RoHS 対応製品の拡販	実施	実施	実施	○

評価 : 目標達成- ○ 未達成 - ×

※ 二酸化炭素排出量は、電力・ガソリン・軽油・都市ガス・灯油・LPG・A重油の使用量の合計とし、電力事業者の排出係数は0.494kg-CO<sub>2</sub>/kWhとした(中部電力平成26年度データ)。

# 環境経営計画の取組結果とその評価、

## 次年度の取組内容

	環境経営 目標項目	取組内容	担当部門 (担当者)	実 施 結 果	評 価	次年度の 取組内容
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	空調温度管理の適正化:冬季20℃、夏季28℃	全部署	○	徹底実施済	継続
		空調機のフィルターを2回/年清掃する	全部署	○	徹底実施済	継続
		始業開始前、昼休み、休憩時、未使用部屋の消灯・空調停止の徹底	全部署	○	徹底実施済	継続
		OA機器適正管理:不使用时電源オフ、節電モードの徹底	全部署	○	徹底実施済	継続
		クールビズ、ウオームビズの推進	全部署	○	徹底実施済	継続
	化石燃料使用量の削減	エコドライブの実施:急発進・急停止・空ぶかし排除、控えめエアコン	営業部	○	徹底実施済	継続
		運行管理の徹底:最適運行最短距離の選択	営業部	○	徹底実施済	継続
		アイドリングストップ実施	営業部	○	徹底実施済	継続
		車両管理の徹底:車両点検、適正空気圧、エアフィルター管理	営業部	○	徹底実施済	継続
		都市ガスの管理:湯沸節ガスの徹底、4~9月不使用の管理	全部署	○	徹底実施済	継続
		ガストーブの適正管理:暖房室温適正管理(20℃~22℃)	全部署	○	徹底実施済	継続
排出量 廃棄物	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減:分別の徹底、リサイクル可能品の増加	全部署	○	徹底実施済	継続
		コピー用紙のリサイクル:緩衝材の作成	全部署	○	徹底実施済	継続
総排水量	水使用量の削減	節水啓蒙活動の実施:節水ラベル点検、朝礼呼びかけ	全部署	○	徹底実施済	継続
		節水の実施:手洗時・散水時節水、トイレ2度流し禁止	全部署	○	徹底実施済	継続
		水漏れ点検:蛇口水漏れ点検	全部署	○	徹底実施済	継続

グリーン 購入	事務用品の グリーン購入	事務用品のグリーン品の購入	全部署	○	徹底実施済	継続
社会 貢献	会社周辺 の清掃	会社周辺の清掃実施（1回／月）	全部署	○	徹底実施済	継続
RoHS 拡販	RoHS 対応製 品の拡販	客先へのRoHS対応製品使用を推奨	営業部	○	徹底実施済	継続

## 環境関連法規等の順守状況の確認・評価結果と違反、 訴訟などの有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規は「環境関連法規一覧表」へまとめ、遵守状況を確認、評価しました。

確認評価の結果は、環境に関する苦情、違反、訴訟などの指摘はありませんでした。

なお、過去3年間とも苦情などはありませんでした。

適用法令等	該当する規制	遵守項目	遵守評価 ○適合 ×不適合
廃棄物処理法	廃棄物の適正分別と保管場所の確保	廃棄物分別手順と保管場所の掲示	○
水俣・水銀 汚染防止法	蛍光管など水銀廃棄物の適正処分	拠点回収	○
愛知県民の 生活環境保全条例	自動車の駐停車時のアイドリングストップ及び 社員教育義務 500㎡以上の駐車場利用者への周知	従業者への教育指導 アイドリングストップ表 示の掲示	○
家電リサイクル法	使用済特定家電の引取業者への適正な引渡し	冷蔵庫、テレビ、エアコンのリサイクル券	○
PCリサイクル法	PCの回収処理(パソコン本体、モニター)	PCのリサイクル券	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への適正な引渡し	社用車のリサイクル券	○
明電舎グリーン調達	指定化学物質の管理(非使用、基準遵守等) 環境マネジメントシステムの運用	基準の順守 EA21運用維持	○
ROHS 指令	指令元素の含有量による使用制限	ROHS 対応製品の使用	○

# 代表者による全体評価と見直しの結果

平成 30 年 9 月 30 日

代表 加賀谷 善晴

## 1. 見直しに必要な情報

- ・環境経営目標の達成状況:未達成事項がある
- ・環境経営計画の実施及び運用結果:経営計画実施状況評価は概ね良好
- ・環境法令等の順守状況:法令順守を確認
- ・外部からの環境に関する苦情や要望など:特になし
- ・前回の指示への取組結果:取り組みはなし

## 2. 変更の必要性

環境経営方針                    不要・要

環境経営目標                    不要・要

環境経営計画                    不要・要

環境経営システム                不要・要

[変更の理由]

変更の必要性なし。

## 3. 評価結果及び指示事項

・環境経営目標に対して…

昨年度ガソリン車を 1 台ハイブリッド車へと変更し、導入効果が大きく表れた点と、基準年度である 26 年度のデータの不正確性の観点より、新たに基準年度を昨年の 28 年度とし、今後 3 年間の目標を再設定とした。

目標未達の一部あるものの、基本的には目標を大きく達成できている。従業員の環境に関する理解は変わらず深まっているが、一方で新たな取り組みについては模索している状況にある。